

令和 6 年 6 月臨時会 提案説明要旨

(はじめに)

関西広域連合議会令和 6 年 6 月臨時会の開会に当たり、議員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

本日退任されました岡本前議長の 1 年間のご尽力に対し、心からお礼を申し上げます。また、新たに就任されました奥村議長には、第 15 代議長へのご就任を心からお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の 5 類移行から 1 年余りが経過しました。今年のゴールデンウィークは、関西各地が内外からの観光客で賑わい、多くの人が出外を控えた光景は過去のものとなりました。人の流れの回復とともに、関西を更に飛躍させるべく、今年度は関西広域連合の 4 つの力を向上させたいと考えています。

一つ目は、防災力の向上です。令和 7 年に発災から 30 年の節目を迎える阪神・淡路大震災からの復興や、令和 6 年能登半島地震を含めた被災地支援の経験を活かし、大規模災害への備えを更に強化してまいります。

二つ目は、産業力の向上です。3 月に改訂した「関西広域産業ビジョン」に基づき、新産業の創出と確立、既存産業の転換と深化、産業基盤の強化等を目指して取組を進めてまいります。

三つ目は、文化力の向上です。令和 5 年 3 月、文化庁の京都移転が実現しました。文化庁をはじめとする行政、経済、教育、文化芸術等の団体や地域住民と連携し、オール関西で文化振興に取り組めます。

最後は、広域行政力の向上です。昨年度進めてきた関西広域連合への奈良県の全部参加が 4 月に実現しました。これを受け、連合委員の分掌事務の見直しを行います。奈良県知事は、令和 7 年 4 月から、広域事務として新たに「広域職員研修」を担い、副担当の広域事務として引き続き「広域防災」及び「広域観光・文化振興」を担います。また、企画調整事務として新たに「広域連携による行財政改革の推進」に取り組むこととし、奈良県知事がこれも担います。新体制のもと、関西全体で広域行政を担う力を更に高め、一層活力ある関西を目指してまいります。

議員各位のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、3 月定例会以降の主な取組について御報告します。

(2025 年大阪・関西万博)

第 1 は、2025 年大阪・関西万博の取組です。

5月23日、広域連合委員や報道関係者を対象に、関西パビリオンの視察会を開催し、パビリオンを全国に向けてPRしました。引き続き、博覧会協会や関係府県市と連携した機運醸成に取り組んでまいります。

また、5月末に「関西観光情報Webアプリ」を公開しました。インターネット上に展開する「関西・WEBパビリオン」と連動して、旅先での利用に最適化したものです。関西パビリオンとの相乗効果を発揮させ、国内外からの万博来場者を関西各地へと誘(いざな)うゲートウェイとなるよう、アプリの内容の充実に努めてまいります。

(広域防災の推進)

第2は、能登半島地震への対応です。

令和6年能登半島地震の発災から約6ヶ月が経過しました。広域連合では、1月2日に災害対策支援本部を設置し、全国知事会及び中部ブロック、指定都市市長会等との連携のもと、石川県内6市町に対し、カウンターパート方式による支援に当たってまいりました。

石川県においては、令和6年能登半島地震復旧・復興本部を設置し、石川県創造的復興プランの作成等、創造的復興に向けて全力を挙げ取り組まれており、広域連合としても、技術職員の中長期派遣等、引き続き必要な支援を継続してまいります。また、各構成団体が派遣支援により得た「様々な気づきや課題」等を共有し、関西防災・減災プランの見直しを行ってまいります。

さらに、近い将来発生が予想される南海トラフ地震などに備えるため、事前防災から復旧・復興までの一連の災害対策を担う専門性を有した防災庁の創設の必要性等について、国への働きかけを行ってまいります。

(広域観光・文化の振興)

第3は、広域観光・文化の振興です。

令和5年7月、官民一体となった文化芸術分野の取組について、文化庁や関西経済連合会等と共同宣言を行いました。日本の文化を世界に発信する観点、地域活性化の観点、ビジネスの観点など、いずれも重要なものであり、今後も、文化庁等と連携し、日本文化を関西から世界に発信できるよう取り組んでまいります。

次に、社会・経済情勢の変化に応じて見直しを図ることとしておりました「第2期関西観光・文化振興計画」について、コロナ禍の終息とともにインバウンドが急激な回復を見せていること、また昨年、関西に移転した文化庁が本格稼働し、国との連携をより強化していく必要がある

ことなどを踏まえ、今年度、同計画の見直しを行います。

また、大阪・関西万博に向け、地域の特色ある伝統芸能や祭り、食文化など多彩な関西文化を多くの方に鑑賞・体験していただける発信イベントを行うなど、関西全域の活性化に繋がるよう取り組んでまいります。

（広域スポーツの振興）

第4は、広域スポーツの振興です。

東アジアで初めてとなる「世界パラ陸上競技選手権大会」が、先日神戸市において開催されました。私も吉村委員とともに視察をさせていただきましたが、世界104か国・地域の選手が参加した今大会では、9日間に渡って熱戦が繰り広げられ、世界トップレベルのパラアスリートが懸命に競技に取り組む姿は感動を呼び起こし、大きな盛り上がりを見せていました。

この感動と興奮の火を消すことなく、3年後に開催される「ワールドマスターズゲームズ 2027（にせんにじゅうなな）関西」に繋いでいかなくてもなりません。開催準備を着実に進めるとともに、誰でも参加できるオープン型の生涯スポーツ大会「関西マスターズゲームズ 2024（にせんにじゅうよん）」の開催や、スマートフォンアプリを活用するウォーキングイベント等を通して、生涯スポーツの機運醸成に取り組んでまいります。

（広域産業の推進）

第5は、広域産業の推進です。

3月議会で議決をいただいた関西広域産業ビジョンに基づき、大阪・関西万博前後の3か年の行動計画「アクションプラン」の策定を進めています。ビジョンで掲げた目標の達成に向け、関西が強みとするライフサイエンス分野やグリーン分野等の産業化推進など、具体的な取組を進めてまいります。

また、万博の機運醸成に向けたさまざまな機会を捉え、関西の食文化を支える農林水産物をPRしてまいります。

（広域医療連携の推進）

第6は、広域医療連携の推進です。

奈良県の全部参加に伴い、管内ドクターヘリは、新たに奈良県ヘリを加えた「8機体制」となり、広域救急医療体制の更なる充実が図られました。一方、ドクターヘリ運行委託先において、不適切な整備措置等が

判明し、点検整備のため一時的な運航停止を行いました。去る5月28日には、国土交通省大阪航空局から運航委託先に対して、事業改善命令及び安全統括管理者の職務に関する警告が出されております。広域連合としては、このことを重く受け止め、6月7日、広域医療局に対策チームを立ち上げ、再発防止と安全な運航管理・整備体制等の確保に全力で取り組んでおります。

（広域環境の推進）

第7は、広域環境の推進です。

「関西脱炭素社会実現宣言」に基づき、今年度も関西広域で省エネをはじめとした脱炭素に係る取組を、統一ポスター等を活用し、広く呼びかけています。

また、奈良県の全部参加を受け、奈良県を関西地域カワウ広域管理計画の対象区域に追加し、カワウに係るモニタリング調査を実施します。奈良県のこれまでのデータとモニタリング調査データ等を統合・共有し、被害対策に係る取組を推進します。

さらにファッションロス削減にむけて、大阪・関西万博に向けた文化発信イベントや3Rシンポジウムにおいて、先進事例の紹介やディスカッションを行い、機運醸成を図ります。

また、関西が持つ豊かな地域特性を活かした交流型環境学習として、「令和6年度学習船『うみのこ』親子体験航海」及び「京都府自然体験教室」を実施します。「自然体験教室」は、今回初めて京都府で実施し、アベサンショウウオの保護活動や山陰海岸ジオパークの特徴的な地形などについて現地で環境学習を行います。

（広域的な流域対策の検討）

第8は、広域的な流域対策の検討です。

昨年9月に立ち上げた「いのち育む“水”のつながりプロジェクト」の一環として、5月30日（ごみゼロの日）に淀川河川敷にて、大阪・関西万博開催300日前を記念した清掃活動を実施しました。当日は、私も吉村委員とともに参加させていただき、総合地球環境学研究所の山極（やまぎわ）所長にもご参加をいただいた次第です。今後は、万博会場での“水のつながり”をテーマとした展示をはじめ様々な取組を行うことにより、“水のつながり”に対する人々の意識を万博のレガシーとし、あらゆる主体が水を守るために連携・協働する社会の形成を目指してまいります。

（広域インフラの整備促進）

第9は、広域インフラの整備促進です。

大阪・関西万博に向け、来場者の交通分散だけでなく、ストレスのない移動によるおもてなしの向上が重要です。このため、開催地である大阪での万博期間中のライドシェアの緩和について、5月21日、関係大臣等への要望活動を実施しました。

また、3月16日に金沢・敦賀間が開業した北陸新幹線は、関西に大きな経済効果をもたらすとともに、大規模災害発生時におけるリダンダンシー確保に寄与するなど、国土の強靱化にも必要不可欠なインフラです。

5月22日には、北陸新幹線建設促進同盟会主催の建設促進大会に参加するとともに、政府与党及び関係省庁に対し、敦賀から小浜、京都、大阪への早期の全線開業について、強く要請をしてまいりました。

秋には関西経済連合会等とともに北陸新幹線建設促進に関するシンポジウムの開催を計画しており、関西圏における機運の醸成を図りながら、一日も早い全線開業を目指し、整備促進活動を展開してまいります。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第10号議案「監査委員の選任について同意を求める件」です。現在、広域連合議会選出の監査委員1名が辞職により、欠員となっていることから、監査委員の選任について同意を求めるものです。

（おわりに）

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしく御審議をお願いします。